

理工学研究科

教育プログラムの名称：機械システム工学専攻

授与する学位の名称：修士（工学）

【修了認定・学位授与の方針(DP: ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院全体及び理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、機械システム工学専攻では、地域創生・次世代形成・多文化共生に資する以下のような知識や能力を有し、定められた審査等に合格した者に学位を授与する。

1) 豊かな人間力

- ①俯瞰的・多面的視野から社会の課題を把握する能力を身につけている。
- ②社会の変化に対応して、人や地域を尊重しながら、課題解決を推進できる能力を身につけている。

2) 深化した専門知識・技能と文理兼修による幅広い視野

- ①専門とする機械システム工学分野に関する深い知識に加えて、幅広い科学技術に関する知識を身に付けている。
- ②科学技術を発展させる上で必要な論理的な思考力と記述力、発表と討議の能力、習得した知識と技術を自在に応用できる能力を身に付けている。

3) 多様な文化の理解とその共生に向けて行動できる能力

- ①グローバルな視野に基づいて情報を収集し、機械システム工学及び科学技術に基づいて多様な文化が共生する社会の創成に貢献する能力を身につけている。
- ②国際性を兼ね備え、自ら得た科学的知見を発信する能力を身につけている。

【教育課程編成・実施の方針(CP: カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院理工学研究科のカリキュラムポリシーのもと、機械システム工学専攻では、修了認定・学位授与の方針に掲げる知識・技術・能力の養成を目的に、以下の方針に従って教育課程を編成・実施する。

1) 教育課程の編成・実施等

- ①豊かな人間力を涵養し、知の総合的推進力を養成する基礎教育科目および基礎専門科目と、機械システム工学専攻領域の基礎から先端分野にわたって専門的知識・技術の深化を図る高度専門科目からなる体系的な教育課程を編成する。

②論理的な思考力と記述力、発表と討議の能力、習得した知識と技術を自在に応用できる能力と、自ら開拓した科学的知見や先端技術を発信する能力を身につけるため、演習科目および実験科目を設ける。

2) 教育方法

①講義科目においては、演習やプレゼンテーションとグループディスカッションを取り入れ、知識のより深い理解を促す。

②演習科目および実験科目では、複数の教員が指導に当たり、専門的な知識や技術を実践的に体得させる。

3) 教育評価

①成績評価基準に基づき厳格な評価を行う。

②博士前期課程の学位基準に基づき、学位論文を評価する。